岡田ゼミ(2223研究室)

地域課題解決研究

《専門》 法学、憲法学

《活動目標》

〈3年次〉

・「**ビジネスと人権**」をめぐる問題に着目しつつ、日本の**雇用と労働に関する法**や**差別禁止法理**などについて理解を深めます。

・関連する文献や資料を精読し、報告やディスカッションを行います。

・これらの学修を通じて最終的に各自で**研究テーマ**を決定します。

〈4年次〉

・研究論文等を完成させます。

《キーワード》

ビジネスと人権、性差別、年齢差別、ダイバーシティ、差別禁止法 等

《卒業論文題目例》

【地域産業コース】

・協働労働における地域課題解決や地域雇用活性化への可能性—労働者協同組合の実態、活動事例の考察から—

【地域文化コース】

・労働組合の存在意義

・単身女性の貧困問題とその法的解決策

《活動内容》

〈3年次〉

・近年、ハラスメント、不当な差別など、企業活動において発生する様々な人権問題が社会の注目を集めています。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。企業が対応すべき**人権問題(人権リスク)**について考えます。

・企業が人権問題に適切に対応し、人権尊重に取り組んだ場合、業績や企業価値に好影響を与えます。特に企業の労働環境に着目し、職場において**多様性(ダイバーシティ)**が**生み出すパワー**について考えます。

・必要に応じて、**広島県内の企業の具体的な取組み**についても調査したいと思います。

〈4年次〉

・設定した研究テーマに沿って、各自で文献や資料等を収集し、**定期的な進捗状況の報告**を経て、**研究論文等を完成**させます。

《本ゼミの特色》

・地域文化コースの学生と一緒にゼミを行いますので、**多様な観点**からのディスカッションや**学際的な学び**が可能です。

・**ESG**(Environment-環境、Social-社会、Governance-企業統治)を考慮した経営が近年注目されていますが、本ゼミでは**社会(S:Social)**に含まれる人権問題に着目したいと思います。

・企業が労働者の人権を尊重し、誰もが働きやすい職場環境を整備することで、生産性や人材定着率の向上につながり、企業の業績に正の影響をもたらす可能性があります。

・たとえば、職場における**差別の禁止**や**多様性(ダイバーシティ)**の促進は、どのような影響をもたらすでしょうか。

・地域産業・地域社会の活性化にとっても**安定的な雇用の確保**は大切な課題です。**ビジネスと人権**をめぐる課題や、**雇用や労働をめぐる課題**について、法の知識を活用しながら、その解決方法を考えます。

《成績評価》

〈3年次〉

・ゼミにおける報告内容、ディスカッションでの積極性など、学修態度を総合的に評価

〈4年次〉

・研究論文の定期報告、最終的な完成度を総合的に評価

《教員から一言》

・関連科目として、全学共通教育科目「日本国憲法」、「法学」、「人権論」、「ライフデザイン」などがあります。これらのうち、いくつか履修しておくことが望ましいです。一緒に学び合いましょう。

《E-mail》 t-okada@pu-hiroshima.ac.jp